

Okayama

岡山市民版

o.jp

避難所の職員配置見直し

市方針 台風12号一部で不足

市議会

9月定例岡山市議会は12日、個人質問を続行。鬼木のぞみ(市民ネット)、赤木一雄(政隆会)、佐藤人海(同)、林潤(共産党)、高橋雄大(市民ネット)の5氏が市政全般をたじた。市側は台風12号による被災時、一部の市指定避難所で担当職員が不足したことを受け、災害時の職員の配置体制を見直す方針を明らかにした。

鬼木氏が「時間的に職員がいなくなった担当職員が不足した状況遅くから職員がりしている」と指摘。況もあり、今後、配備配置されたり、仕事が 繁定昭男理事(危機管 体制を全庁的に見直し掛け持ちになり一時的 理担当)は「避難所でたい」と答えた。



鬼木のぞみ氏 赤木一雄氏 佐藤人海氏 林潤氏 高橋雄大氏



市議会改革前進を評価

さとう人海の個人質問と当局の答弁です。



また、佐藤氏が市災害対策本部に市民からの問い合わせが殺到し、電話10回線がパンク状態となったことを取り上げて対応を質

問。繁定理事は「本部の電話台数の増設を図りたいと考えている」と答えた。

市のマニュアルでは避難所の開設時、各区役所から市民保険年金課の職員を原則2人ずつ配置するよう規定している。市は現在、今回の職員の配置状況を詳しく調べている。(平松隆)

は、南区全域を含む21万人に避難勧告や避難指示が出された。市指定避難所への避難者が2353人とどまっただことに、繁定理事は「本市は全国的にも災害が少なく、避難勧告なら自分たちの地域はまだ大丈夫だろうという判断が働いたのではないか」との見方を示した。

外郭団体の個別改革を

市本年度中にも方針策定

岡山市は12日、市が「団体ごとの改革方針を出資したり、職員を派を本年度中にも策定する方針を明らかにし、外郭団体について、各」

高橋雄大氏の質問に高谷茂男市長が「指定管理者制度の導入など、外郭団体を取り巻く環境は大きく変化している。今後、各団体の個別改革方針を策定し、改革を強力に推進したい」と答えた。

また、一方、政隆会「収を削減するため、14人」は、9減の43人当たりの報酬を4万円に引き下ろすことなどを条件に